

平成 24 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	東児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市大洞桜台1丁目33番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,433,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,659.48㎡ ◇延床面積:315.23㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児集会室、図書学習室、静養室、事務室、駐車場(岐阜市大洞桜台市営住宅駐車場)		

●利用状況

		H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期	H22 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	6,612	5,555	6,570	5,955	6,355
	移動児童館利用者数	585	497	896	447	964
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	9	12	13	10	12
	開館日数(単位:日)	157	152	157	151	157

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、嘱託職員(2名)。 ③毎月、広報発行・配布、児童センターホームページ掲載。 ④駐車場の要望について岐阜市と協議し対応。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、冷房中の部屋の扉を開け放しにしない等、節電を実施。児童館の廃材の活用、他館にあるものを利用(リユース)。 ④日常的に遊具の不具合や危険がないか確認。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(法人)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	②災害や事故等が起こった場合は指定管理者並びに市へ報告。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成24年7月5日・11日に幼児クラブ参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者数18人(回収率72%)
利用者アンケートの実施結果	○児童センター運営について ・施設 満足6人(34%)、ほぼ満足6人(33%)、普通4人(22%)、やや不満0人(0%)、不満0人(0%)、無回答2人(11%) ・クラブ 満足11人(61%)、ほぼ満足4人(22%)、普通1人(6%)、やや不満0人(0%)、不満0人(0%)、無回答2人(11%) ・職員 満足10人(56%)、ほぼ満足5人(28%)、普通1人(5%)、やや不満0人(0%)、不満0人(0%)、無回答2人(11%) ○楽しかったプログラム、楽しくなかったプログラム(複数回答可、上位3つまで記載) ・すくすくクラブ (楽しかった)楽器あそび5人、体をつかってあそぼう・おもちゃづくり・室内水あそび4人 (楽しくなかった)紙芝居・絵本2人 ・なかよしクラブ (楽しかった)水あそび9人、新聞紙あそび、楽器あそび7人 (楽しくなかった)手あそび・紙芝居3人、風船あそび・消防署見学・作ってあそぼう・でんしゃごっこ ・せんたくごっこ・水あそび・修了会&お店やさんごっこ、楽器あそび2人
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・要望 ⇒ 回答 もう少し駐車場が近いと良い ⇒ 近隣に駐車場として使用できる所がないが、ご意見は岐阜市に伝えていく。 同じ学年のクラブがあると良い ⇒ 学期を経るごとに同学年の子が集まる事、異学年の交流の事もあり、学年ごとのクラスは考えていないが、今後要望増えるなら検討。 トイレが暗いので明るい方が良い ⇒ 要望として岐阜市に伝える。 マーブルティックというおもちゃが欲しい ⇒ 秋頃購入予定。 ・その他意見 子どもの成長を共に感じ話ができてよかった。お友だちと一緒にあそべて楽しそうだった。回数を重ねていく毎に行くのが楽しみになってきたので参加して良かった。家ではできない新聞紙あそびなどとても楽しませてもらえたと思う。ダンスを取り入れて欲しい。季節に応じたイベントがあったら参加したい。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
区分評価			A			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人的能力、人的能力を有していること	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	幼児クラブに参加の保護者へのアンケート結果より、職員やクラブについて、満足またはほぼ満足が80%以上であった。駐車場が遠いなど、利用するにあたって不便さを感じながらも、子どもがクラブを楽しみにしているとの声も多く、保護者が駐車をしにくい間、子どもをみているなど、できるサービスをおこなった。また、児童の様子や幼児の発達について、気になることを学校や保健センター、地域との情報交流をおこなった。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	利用者増に向けて、利用者の声を行事やクラブへと反映し実施してきたが、今一つ伸びなかった。幼児については、幼児クラブの参加者が少なかったことが原因と思われる。児童については、「バドミントンに挑戦」や「記録に挑戦」など繰り返し行事を行うことで、興味をもったり、自信のきっかけとなり自身自身の挑戦をする姿が見られたが、利用者を広げるということまでには至らなかった。
今後の取組み	幼児クラブでは、1歳児クラブを月2回から毎週実施へ、自由参加クラブは11月より月2回、親子3B体操を実施する。また、児童については、普段の遊びを盛り上げながら、集団であそぶことの楽しさを体験できるよう努める。また、個々の対応について、学校や地域との情報交流をおこないながら、職員間の対応の徹底の強化に努めるとともに、安心・安全であそべる施設になるよう努める。

●所管課の意見

<p>児童センターのおたよりの配布、ホームページ掲載等の広報活動を実施。</p> <p>幼児クラブについて、年齢に関係なく、保護者からの要望が多い「音楽あそび」や、小学生について、自分自身へ挑戦をする事で自信や達成感を感じてもらったための行事、子どもたちからの「作ってみたい」「やってみたい」という声を取り入れた行事等、新たに事業を実施し、利用者増を図った。また、登録制幼児クラブの申込み時に保護者から要望を聞き活動に取り入れる等、利用者サービスに努めた。</p> <p>地域の食生活改善推進委員や母親クラブの協力により野菜を育てる体験や食べる事の大切さ、また野菜のおいしさを伝える食育活動(ハッピーフードプロジェクト)の実施、食育栄養指導士を講師に招いた食育講座の開催など、食育に関する活動を継続実施した。配慮を要する児童に対し、職員が関わりを持ちながら対応を行い、学校や地域と連携を取りながら支援を行った。事業計画に基づく事業は計画どおり実施した。職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われた。地元の関係機関との交流や地域の行事に参加、支援、連携する事で、地域に貢献した。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業計画書どおり適正に管理運営されており、良好と認められる。</p> <p>なお、広報の方策として、岐阜市の子育て支援サイトである「ぶりあネット」の活用も検討していただきたい。</p>
